

INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：熊谷 健 副会長：井上 修 幹事：小原文成 公共イメージ向上委員長：太田明良

	2024-2025 国際ロータリーのテーマ ロータリーのマジック	2024-2025 RI会長 ステファニー A. アーチック ＜米国ペンシルバニア州＞	
第1731回例会 令和7年3月4日(火)			

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 君が代・奉仕の理想・四つのテスト 鈴木一比古副ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介

・米山奨学生 アミン, エムディ アル 様



■ 会長談話 熊谷健会長



昨年父が亡くなり一周忌も近いということで、女房に急かされ3月2日の日曜日に父の遺品の整理をしていましたところ、ロータリークラブでの挨拶や卓話の原稿が出てきました。しばし、読みふけたのですが、伊那中央ロータリークラブの歴史や当時のクラブの雰囲気が伺えましたので、今日はその話をしようと思います。

手書きの荒原稿ですので、いつどこで話したのか記載はありませんが二つほど紹介いたします。

一つ目は「プログラム委員長の下井さんから、伊那中央ロータリークラブの創立から 10 年の足跡を辿って話をするように依頼され」と始まります。

伊那中央ロータリークラブは、伊那ロータリークラブをスポンサークラブとして、藤澤今正氏と木下康也氏を中心に昭和62年5月19日に創立総会開催をもって発足したとされています。同年6月5日に国際ロータリー加盟を承認され、下平晃会長以下31名で誕生しました。

私は初めて知りましたが、我がクラブ誕生の契機は地区の分割にあったそうです。当時は、長野県と愛知県が一緒に RI 260 地区（当時は 2600 ではなかったんですね。）だったのですが、愛知県が 62 クラブ、長野県が 34 クラブ、両県で合計 96 クラブ、会員数 6600 人という世界最大のマンモス地区であったそうです。ガバナーの公式訪問も毎日続けても4か月以上かかってしまうということでもう限界だったんですね。

そこで地区を分割するという話になった。しかし、当時 RI の規定によると、クラブが 40 未満の場合は地区を編成できないということになっていたそうです。そこで長野の 34 クラブは、見切り発車をして地区分割申請をしたそうです。その中で、県内各地で新クラブ設立の動きが活発化されたそうです。

当時、伊那ロータリークラブは会員数は 80 名を超える大きなクラブであったことから、当時のガバナーから「まあ大きなクラブだから新クラブを設立してくれんか」と白羽の矢を立てられたのが、我がクラブ設

立の発端となり、旧地区で 100 番目、分割後の長野地区で 40 番目のクラブとして創立したとされています。R I 加盟の承認が昭和 62 年 6 月 5 日、地区の分割日が 7 月 1 日となっており、本当にギリギリの設立であったそうです。

もう一つ原稿は、クラブの千回記念の卓話のものです。丁度、21 代目田中洋さんが会長の時のものです。几帳面な親父らしく、手書きで 3 回も推敲して原稿をつくったことが窺われます。

そこには、21 年目までの様々なクラブの活動が列記されており、分水ロータリークラブとの友好提携などもホヤホヤの事業として記載されています。それらの事業を推進し、成果を挙げてきたことについて「その若さとバイタリティー溢れる実行力には、我がクラブながら深甚なる敬意と誇りを強くしています。」と綴っています。

また、自身のロータリー随想として「人間を根底から動かすものは、難しい理論や理屈ではなくて、全身の感動であり、腹の底からの納得であると言われます。折角、ロータリアンであるからには、少しでも何かに感動し、心をとぎめかせ、それを世のため人のために奉仕する行動に繋げたいものです。」とし、その後、「同じ人間でありながら、人間としての最低の生活条件にも恵まれない悲惨な人々が、この地球上に大勢いる。」と、世界の貧困について、ロータリー財団を活用して奉仕をする必要性について語り、最後に「こんな言葉があります。鐘は、鳴らさなければ鐘ではない。歌は、歌わなければ歌ではない。愛は、与えなければ愛ではない。」と結んでいます。

私は父の生前に、一度も父とロータリーについて話したことはなく、父がどのようにロータリーと関わっていたのかも知る由もなく、知ろうともしませんでした。しかし、このような原稿を見つけ、少し父を身近に感じるようになりました。

■ 慶 祝

3 月誕生祝い

・宮澤豊和会員 ・吉原弘明会員 ・三澤俊明会員 ・馬場秀則会員 ・北原幹子会員



■ 米山奨学金の支給

・米山奨学生アミンさんへ熊谷会長より、ロータリー米山記念奨学会「3 月分奨学金」が手渡されました。



■ 委嘱状伝達式

「2025-2026 年度 地区委員委嘱状」

・資金推進小委員会 委員 原一馬会員



■ ニコニコボックス

- ◆熊谷健 今日ではアミン君ようこそお越し下さいました。せっかくおいでいただきましたが、アミン君は3月2日から1ヶ月間、ラマダンというお祈りの期間に入っていて、日の出から日の入りの時間まで断食をしなければならないそうで、今日のお昼も食べられないそうです。残念ですが耐えて下さい。
- ◆小椋文成 昨日、長野まで行く予定でしたが、雪で高速・19号ともに通行止めで諦めました。例会終了後、再度向かいます。皆さんお気を付け下さい。
- ◆伊藤かおり 天候も心配される中、皆様お疲れ様です。
アミンさん、今日もようこそお越し下さいました。
本日も宜しくお願い致します。
- ◆唐澤千明 先日は亡母の葬儀の折にはお世話になりありがとうございました。100歳に1ヶ月届かず99歳まで頑張りました。
- ◆矢島宏 RCゴルフコンペにて、久しぶりにベスグロ賞をいただきました。井上さんが次はハンデ30打くれそうです。

■ 幹事報告

小椋文成幹事

幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・2月25日（火）指名委員会の報告 平澤理指名委員長



第3回の指名委員会を、2月25日に海老屋料理店で行いました。

会員の皆さんも周知の通り、次年度会長エレクト宮下健会員・副幹事原一馬会員を招いて、激励の意味での懇親会を行いました。

お二人の挨拶の中で、会長・幹事の時には伊那中央ロータリークラブ40周年に当たるといふことで、この周年事業に全力を注ぐとの力強い言葉を頂き、とても有意義な

会となりました。

・2月26日（水）ゴルフ部山梨遠征の報告 澁谷恵二ゴルフ部長



2月26日に山梨県境川カントリー倶楽部へ行ってきました。

参加者は14名。優勝：宮澤友浩会員 準優勝：矢島宏会員 3位：平澤照雄会員でした。3名の方おめでとうございます。ニコニコBOXへのご協力をお願いいたします。

好天に恵まれ、とても暖かく、甲府盆地を見下ろしながら楽しくプレーが出来ました。夜は表彰式を桂にて行い懇親も深めることができました。

次回の第5回ゴルフ部コンペは4月9日水曜日を予定していますのでたくさんの会員の皆さんの参加をお願いいたします。

最後になりますが、朝から大騒ぎの車中でしたが、冷静かつ安全運転でバスの送迎をしていただきました鈴木会員、本当にありがとうございました。

・3月1日（土）次期地区チーム研修セミナー・全体会議の報告



小椋文成次期地区公共イメージ向上委員会委員

3月1日（土）に松本市の梅風閣において次期地区チーム研修セミナーが開催されました。

白鳥ガバナー・小林ガバナーエレクトの挨拶ののち、古川地区研修ファシリテーターの説明がありました。そして、小林ガバナーエレクトから国際協議会の報告と次年度の地区方針について発表がありました。

次年度からRIにおいて、テーマ及び年度ロゴやバッジは作成しないという方針が発表されていましたが、

国際協議会の場で RI 会長メッセージとして「UNITE FOR GOOD」—よいことのために手を取り合おう—が発表されたようです。また事前にガバナーエレクトからの質問への回答があり、退会防止、会員増強に力を入れていくこと、ポリオには引き続き注力することなどの回答があったようです。

2025-26 年度の地区運営方針は「未来へつなごう 信濃の国の物語」山河に隔てられた信州には、地域独特の歴史や文化が育ちました。私たちは信濃の国々で磨き上げた物語を私たちの奉仕の心とともに未来へとつなぎます。

小林ガバナーエレクトが自身の経験から防災・減災に県との協定などを視野に力を入れていくとのことでした。

あとは、分科会がありそれぞれの委員会毎に話し合いが行われました。

・3月1日（土）次期地区チーム研修セミナー・青少年奉仕委員会の報告

井上修次期地区インターアクト小委員会委員



青少年奉仕委員会は、青少年交換・ライラ・インターアクト・ローターアクト・学友・危機管理の関係者 30 名弱で行われました。折井パストガバナーを主賓に迎え、脇田委員長の司会で各委員会からの報告と今後の展望について熱い議論が交わされました。議題は、DEI 高校生や留学生に対するパワハラ・セクハラ防止の再徹底（問題発生時には RI に 24 時間以内に報告の義務があり、アイサイト・ガバナーがこれを認識していないと解任されるとか）と、4 月に開催されるインターアクト全国大会への応援の依頼が主たるものでした。

・「ロータリーの友」3月号紹介 清水吉治会員



*横組み

P：7 災害時トイレが使えない恐怖

災害時の仮設便所等については、何か事あるごとに話題になりますが、一般家庭における水洗便所についてはあまり語られることはないかと思います。

今回はかなり踏み込んだ話になっていますので、是非目を通していただきたいと思います。

P：8～13 水の停止がもたらす危機・災害トイレの準備は必須・清掃と衛生管理が必須・衛生環境確保に尽力しなければならない。

P：15 デ・カマルゴ RI 会長エレクト談

- ・ロータリーは最高のリーダーシップ研修である
- ・よいことのために手を取りあおう
- ・環境に焦点を当てることで若い会員を引き寄せる

P：18 日本の女性会員の割合は 7 パーセントである。会長エレクトのブラジルは 31 パーセント、アメリカは 32 パーセント、イスラム教国であるエジプトでは 51 パーセントになるとのこと。日本の少なさにビックリ。

P：38 エバンストン便り

トランプ政権は世界ポリオ根絶推進活動の母体である WHO（世界保健機関）から脱退を表明した。トランプ氏は壊すことに快感を得ているように感じてしまうが？

*縦組み

P：4～8 財産と命を守る防犯マニュアル

- ・どんなに対策を講じても止まらない特殊詐欺被害、高齢者の弱いところは何か。今日、IT 化が進み、高齢者は情報を上手くキャッチ出来なくなってしまった。インターネットやテレビが防犯対策情報を伝えても、昔の情報をそのままにして更新が出来ない。特殊詐欺組織の付け入るスキをつくってしまう。防犯意識が高い人と低い人、新しい犯罪手口を知っている人と知らない人、情報が書き換えられていない昔のままの人。そこに情報格差が生まれ、被害者がどんどん増えているのが現状である。
- ・オレオレ詐欺が初めて発生したのが 20 年前であった。
- ・特殊詐欺で一番怖いのは「予兆電話」です。貴金属の買取り、アンケート調査と称して、貴方がどういった人かを調べるための身辺調査電話です。
- ・特殊詐欺被害者の内訳は 65 歳以上が全体の 80 パーセントとなり、その手口の 80 パーセントが固定電

話を使用している。固定電話機の対策が急務である。3 月は確定申告のさなかであり特に気を付ける必要がある。

- ・預貯金詐欺「キャッシュカードが不正送金に利用されている」
- ・還付金詐欺「未払い金があるので手続きして下さい」
- ・架空料金請求詐欺「貴方のパソコンがウイルスに感染しています。すぐに電話を掛けてください」
- ・警察を名乗って警察手帳を見せられても、素人に本物か偽物かの判断は出来ない。「普通は見ることも出来ないの」
- ・犯罪組織にスキを見せない対策
- ・機械警備「高齢者宅には迷惑電話防止機能付き電話機を設置」
- ・防犯カメラ「光で威嚇、音で威嚇などが有効」

P:15 俳壇

伊那 RC 鈴木正比古さん「菰巻くと老松の腰伸びるらし」

P:16 ロータリーソング「奉仕の理想」

ポール・ハリス来日に合わせ日本語のソングを公募して披露した。1935 年の戦時下であった。そこで当初は「世界に捧げん・・・」を「御国に捧げん・・・」として採用された。当クラブは「御国に捧げん・・・」である。

■ 次期委員会構成発表 井上修会長エレクト

39 年度は初めての委員長の方が何人かおられます。その方達のフォローにベテラン会員が副委員長になって頂いています。懇切なる指導をお願い致します。

■ 出席報告 会員数44名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者25名 事前メイク1名
出席率68.42% 前回出席率 修正なし

■ 理事会報告 小椋文成幹事

1. 第 38 年度 分水ロータリークラブとの交流事業について
2. 創立記念例会・観桜会の招待者と記念奉仕事業について
3. 次年度役員理事及び委員会構成について
4. 3 月の行事予定並びにメイクアップ扱いについて
5. その他

■ 点 鐘 13:30

次回例会

3 月 9 日（日）上伊那グループ I.M.（ホスト：駒ヶ根 RC）

3 月 25 日（火）点鐘／12:30 場所／海老屋料理店

- ・卓話：日本銀行松本支店長様
- ・支援留学生と米山奨学生送別の会
- ・例会終了後：理事会